

令和3年（2021年）2月26日

北海道知事 鈴木 直道 様

一般社団法人
北海道手をつなぐ育成会連合会
会 長 佐藤 春光

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関する要望

日頃から、本会の活動へご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の感染および重症化予防を目的としてワクチン接種が開始されることが発表されました。本会としても、ワクチン接種が実現することに感謝申し上げるとともに、医療関係者などへの優先接種を皮切りとした迅速な接種体制の確立を期待するものです。

他方、知的障がい児者の中には新型コロナ重症化リスクが高いとされる基礎疾患を有する者もいるほか、障がい特性を考慮した接種方法の選択などを希望する声が寄せられております。

つきましては、次のとおり本会からの要望を提出いたしますので、感染症対策担当部局及び道内自治体との調整に当たっては十分にご留意いただきたく、よろしくお取り計らいのほど、お願い申し上げます。

記

1 重症化リスクのある基礎疾患を有する人などへの確実な優先接種

知的障がいであることが、新型コロナの重症化リスクの要因ではないことは理解しております。しかし、障がい児者の中には、重症化リスクのある基礎疾患を有する人もいますし、とりわけ、重度重複障がい児者につきましては、そもそも基礎体力が十分ではなく、感染症全般に大きなリスクを有しています。こうした障がい特性の一部ともいえる実態にご配慮いただき、そうした場合、確実な優先接種を道内自治体へ改めて通達していただきたいと思っております。

また、重度知的障がい児者の中には、接種後の副反応について自ら異常を訴えることができない人も多くいます。そのため、身近なかかりつけ医にも、副反応等の情報を的確に提供していただくよう、お願い申し上げます。

2 障害福祉サービス事業所などにおける集団接種の実施

厚労省のホームページによると、ワクチン接種には大きく地方自治体の指定する会場での集団接種、指定医療機関での個別接種が例示されています。しかし、知的障がいや発達障がい（自閉症圏）の人がスムーズに接種するためには、慣れた施設や医療機関での対応が重要と考えます。接種場所については柔軟に対応するよう、道内自治体へ通知をしてください。

また、障がい福祉サービス事業所や障がい者支援施設単位で接種可能とする場合には、当該事業所等利用者のうち、接種順位が最も高い人へタイミングを合わせていただきますよう、あわせてお願いいたします。

3 接種に関する本人意思確認の支援

知的障がい児者にとっては、新型コロナそのものがどういった感染症であるか理解しにくいことに加え、ワクチンの接種にはどのような効果と副反応が想定され、なぜ期間をあけて2回接種する必要があるのかなど、ワクチン接種に関する分かりにくさも想定されます。さらに、ワクチン接種を希望するか否かについて、本人の意向を確認するための支援が必要な人が多いことにも十分留意する必要があります。

田村厚生労働大臣も、国会において「国民にしっかりと情報提供したうえで、本人の意思に基づき」接種の是非について判断することが重要である旨を答弁されていることを踏まえ、次の2点についての対応をお願いいたします。

- (1) ワクチンの接種による効果と副反応（特に重篤な副反応が起こりやすい状況、
て
んかん発作との関係性、アレルギーの有無など）、期間をあけて2回接種する必要性などを、知的障がい児者に分かりやすく情報提供するリーフレットなどを
作
成し、広く周知してください。これらは、知的障がい児者だけでなく、子ども
や
国外にルーツを持つ人たちへの情報提供としても有効と考えます。
- (2) 分かりやすい情報提供を基礎として、障がい福祉サービス事業所等において浸
透
しつつある意思決定支援の取組みを最大限に活用し、ワクチン接種の希望につ
い
ては可能な限り丁寧に本人の意思を確認する取組みを徹底してください。

以 上

【事務担当】

(一社) 北海道手をつなぐ育成会 (事務局長 樋口賢治)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階

TEL 011-251-0855 / FAX 011-251-0804 e-mail : doikusei@air.ocn.ne.jp